



エアセルフジョイント

特長

1. 脱着用エアシリンダ不要！

…エア供給ラインで、押付面に接続&エア供給しますので、別途脱着用のエアシリンダ等は不要となり、コストダウンが図れます。又、供給エアカット時は自動で後退します。



2. 押付面、傾き、芯ズレ許容値大！

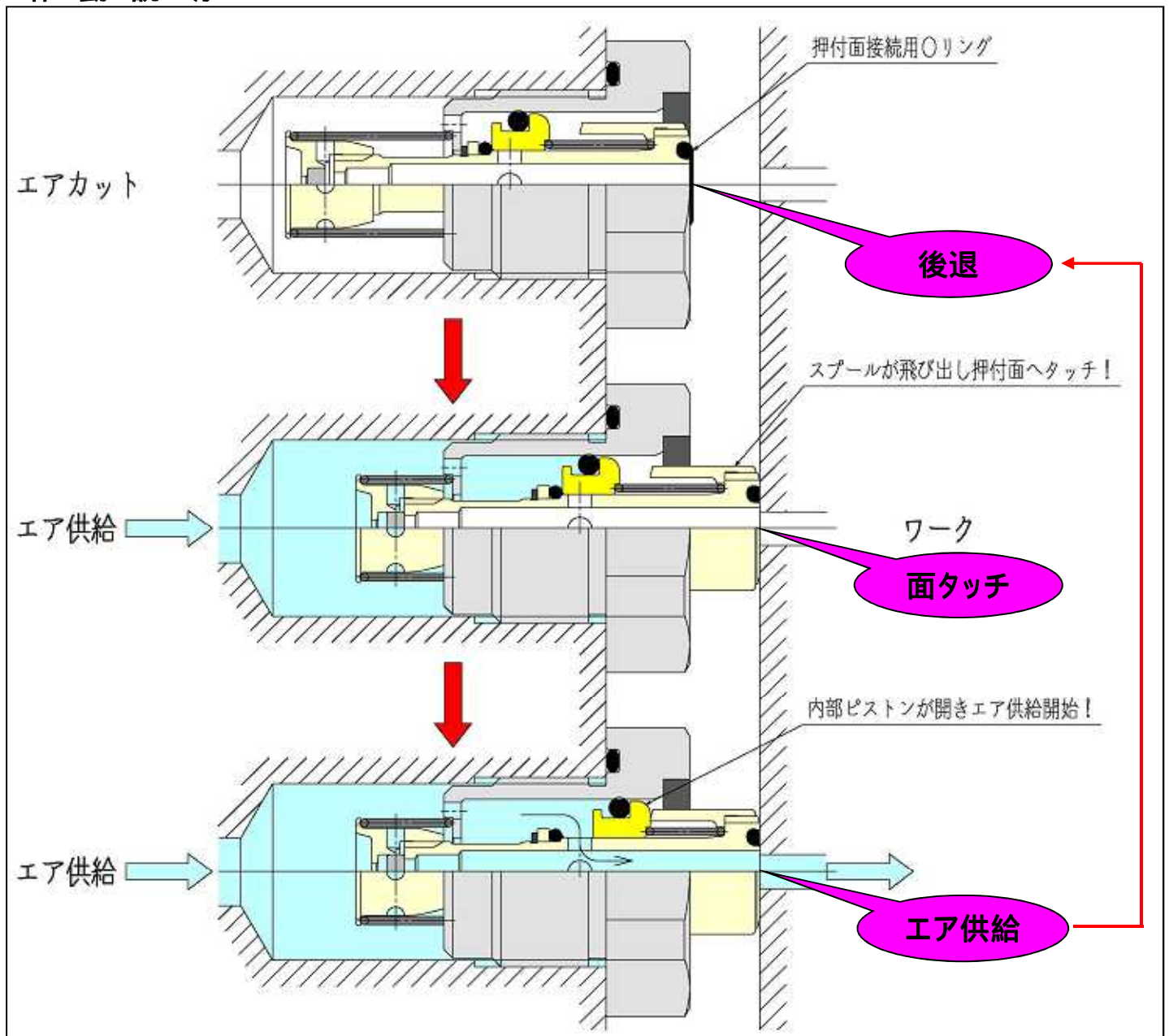
…万一、スプールと押付面が平行にタッチしなくても、押付面に追従し、最大 2° まで漏れなくエア供給を行います。また、接続時の芯ズレ許容値が大きく、取付、調整が容易に出来ます。

3. 面タッチのため押付面の加工が容易！

…接続側は面タッチとなるため、エア供給穴(キリ穴)を加工したプレートを準備するだけで、特別な機器は不要です。そのため、接続側への費用を抑えることができます。

(但し、Oリングシートのため、押付面側の面粗さは $R_{max}6.3S$ 以下に仕上げてください)

作動説明

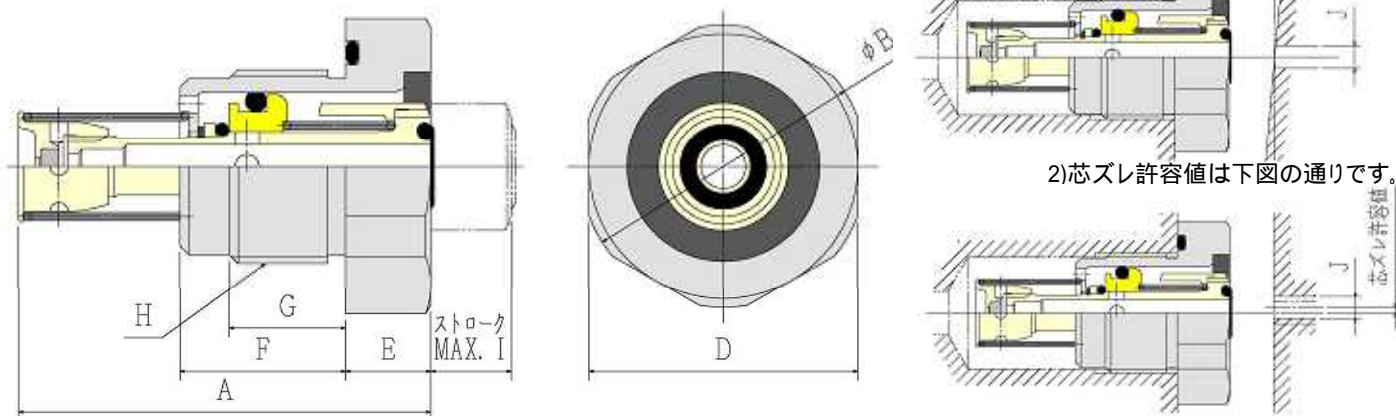


仕様

製品型式	-	ASJ01	ASJ02	ASJ03	ASJ04
耐圧	MPa	1			
使用圧力範囲	MPa	0.2~0.7			
最大許容傾き角度(1)	度	2.0	1.5	1.2	1.0
使用ストローク	mm	7			
使用温度範囲		-5~60(但し凍結なきこと)			
使用流体	-	エア、不活性ガス(無給油)			
有効断面積	mm ²	10	20	40	60
芯ズレ許容値(2)	mm	1.0			
耐衝撃値	m/s ²	300			
耐久回数	回	10万			

1)最大許容傾きは下図の通りです。

外形寸法

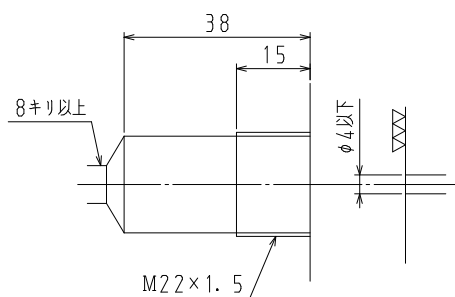


2)芯ズレ許容値は下図の通りです。

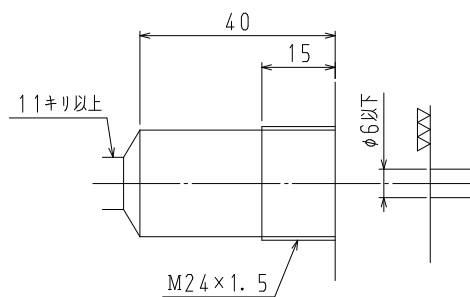
型式	A	B	D	E	F	G	H	I ()	J
ASJ01	46	32	30	9.5	15.5	13	M22×1.5	9	4以下
ASJ02	47.3	37	35	9.5	19	13.5	M24×1.5	9	6以下
ASJ03	52.3	40	36	9.5	22.5	13.5	M27×1.5	9	8以下
ASJ04	53.3	41	38	9.5	23	13.5	M30×1.5	9	10以下

)スプール自身のストロークは9mmです。使用ストロークとは異なります。

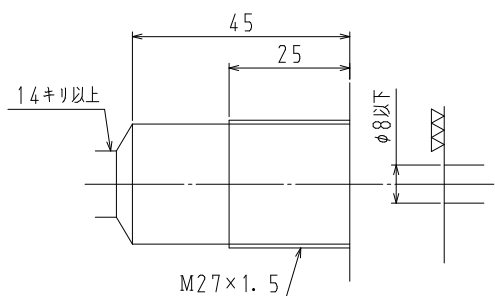
取付加工寸法、押付面加工寸法



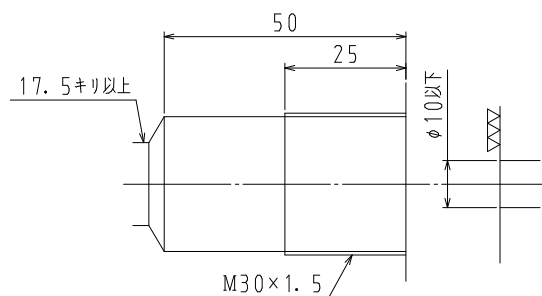
ASJ 01



ASJ 02



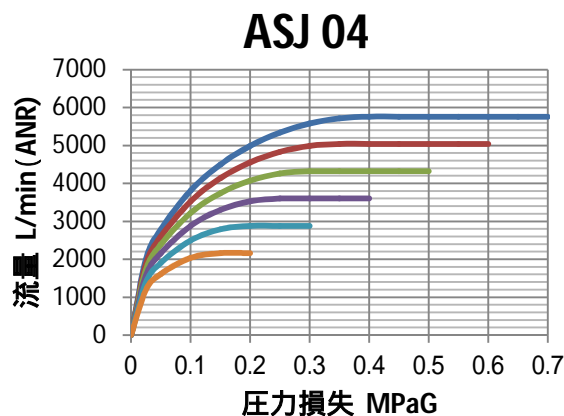
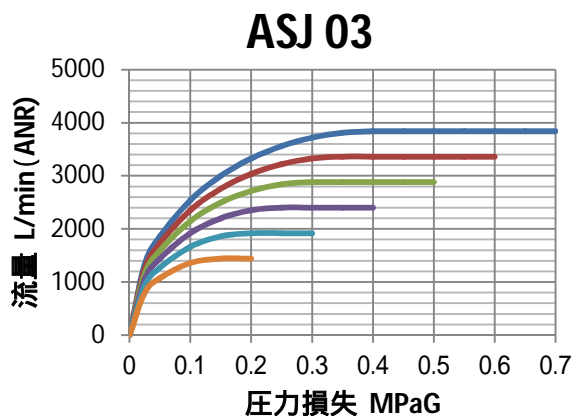
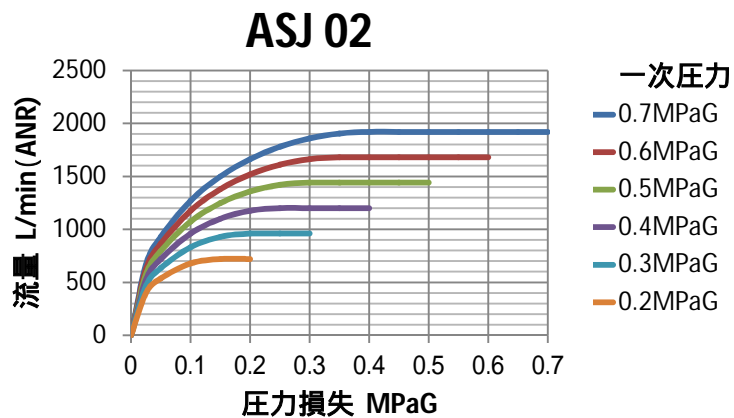
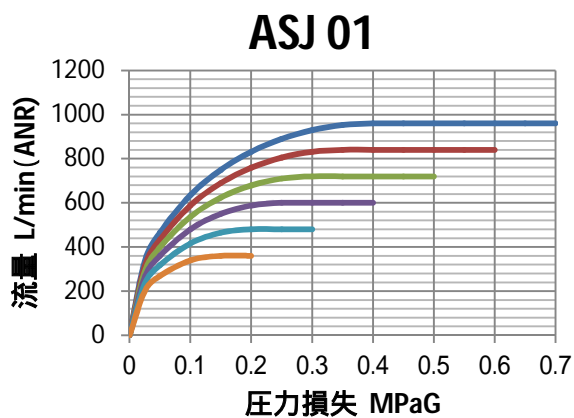
ASJ 03



ASJ 04

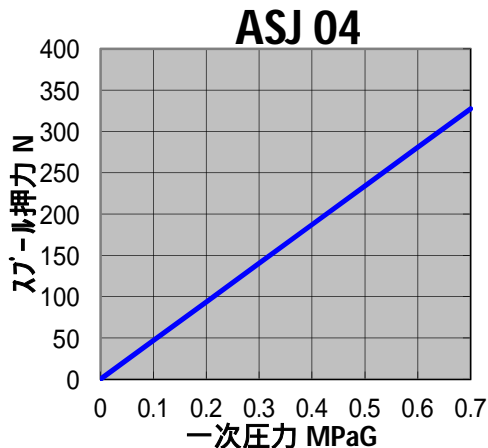
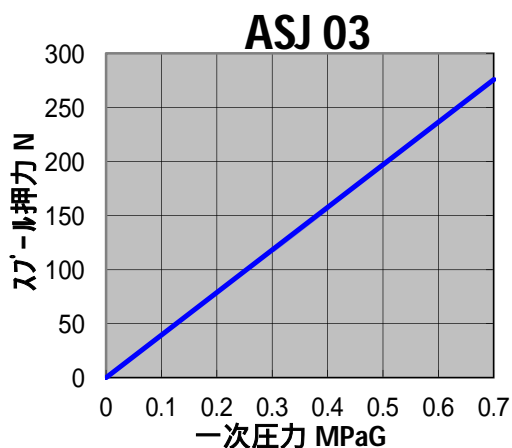
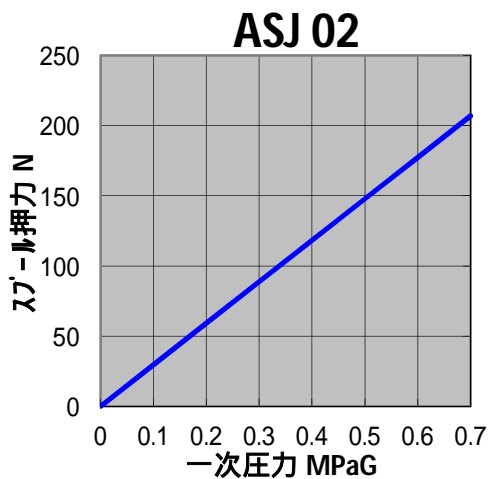
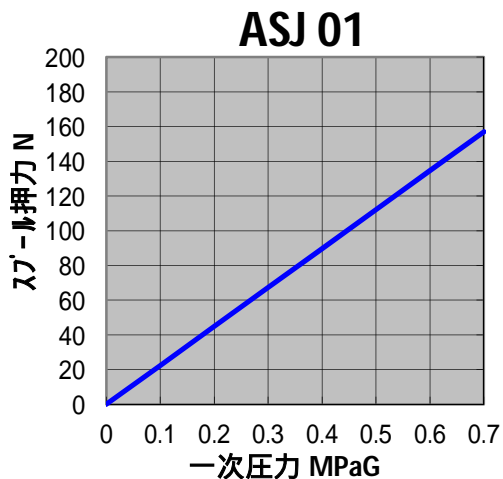
性能・特性

一次圧力に対する流量特性



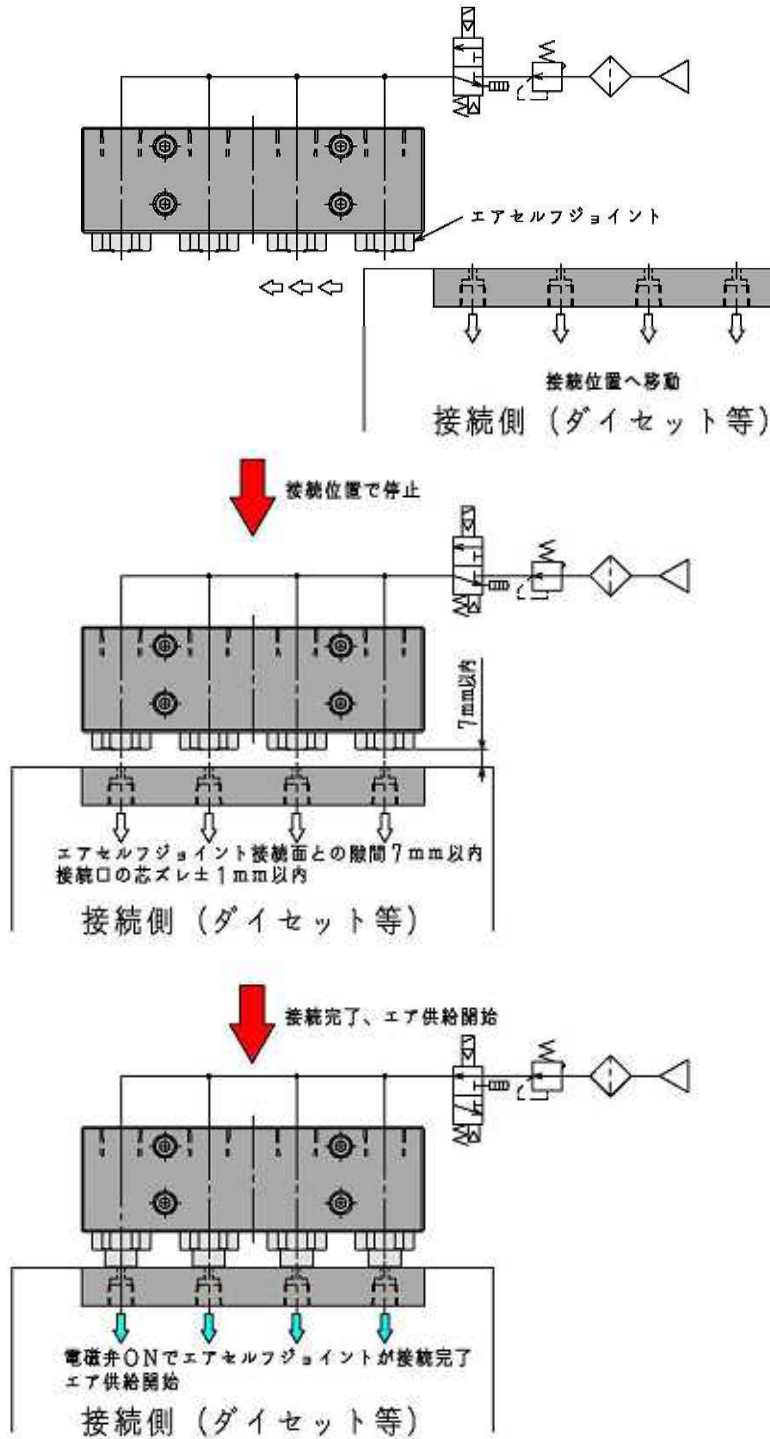
一次圧力に対するスプール押力

注記) 下表、スプール押力は、スプールがワークにタッチした後の、押付力を示しています。

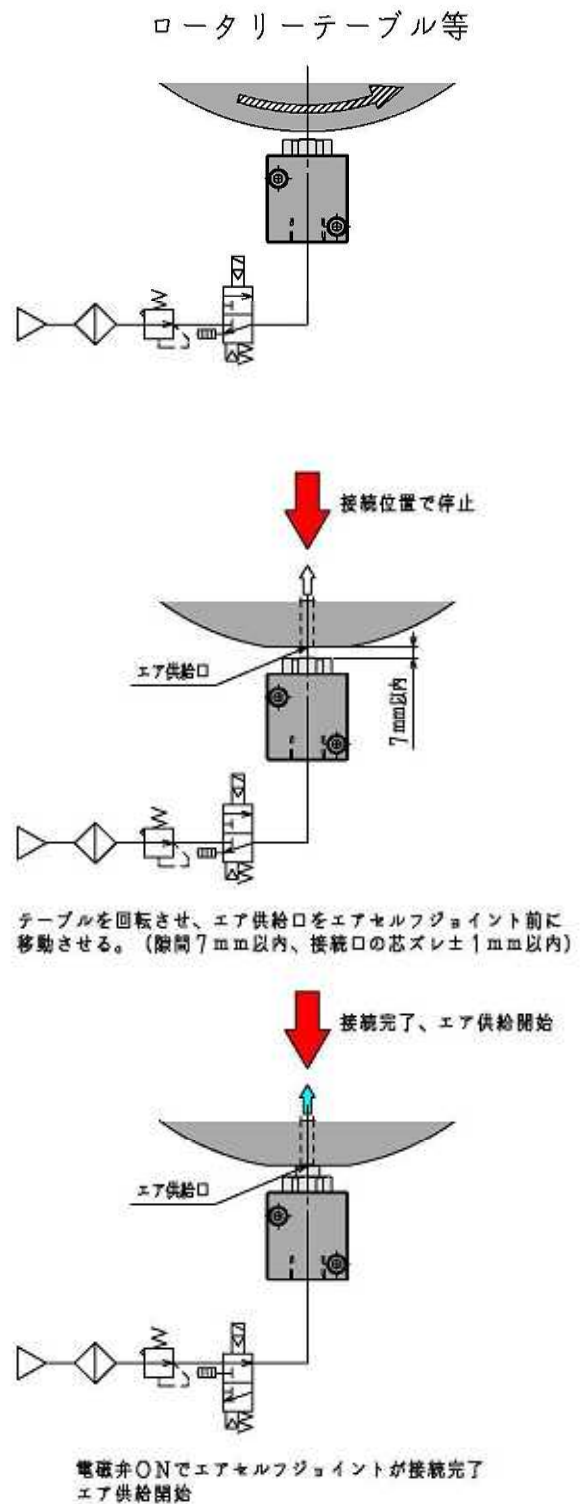


使用例

スライド物に対する接続



回転体に対する接続



エスアールエンジニアリング株式会社

本社・開発 / 〒651-2271 神戸市西区高塚台3丁目2番60号

東京営業所 / 〒183-0016 東京都府中市八幡町2-21-12

中部営業所 / 〒471-0077 愛知県豊田市竹生町4丁目45番地

本社 TEL.(078)991-4400(代) FAX.(078)991-4406

開発 TEL.(078)991-4407(代) FAX.(078)991-4403

TEL.(042)369-6401(代) FAX.(042)369-6404

TEL.(0565)32-3081(代) FAX.(0565)32-3083

URL <http://www.sr-engineering.co.jp>

E-mail ; sre@-engineering.co.jp

注) 記載事項は予告なく変更されることがありますので、あらかじめご了承ください。(2009年11月現在)